

# 佐賀市商工会における経済動向分析

## 1

### RESAS地域経済分析システムなどを活用した地域の経済動向

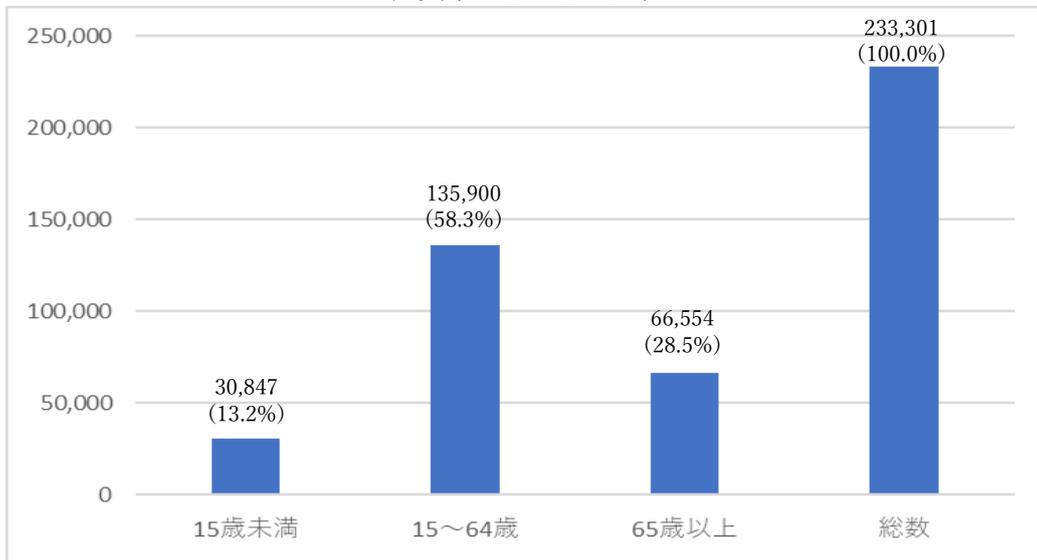
#### 1. 佐賀市の人口

##### (1) 佐賀市の人口

佐賀市の人口は、2020年現在 233,301 人です。

15歳未満の年少人口は 30,847 人で全体の 13.2%を占めています。15～64歳の生産年齢人口は 135,900 人で全体の 58.3%を、65歳以上の老年人口は 66,554 人で全体の 28.5%を占めています。

佐賀市人口 2020年

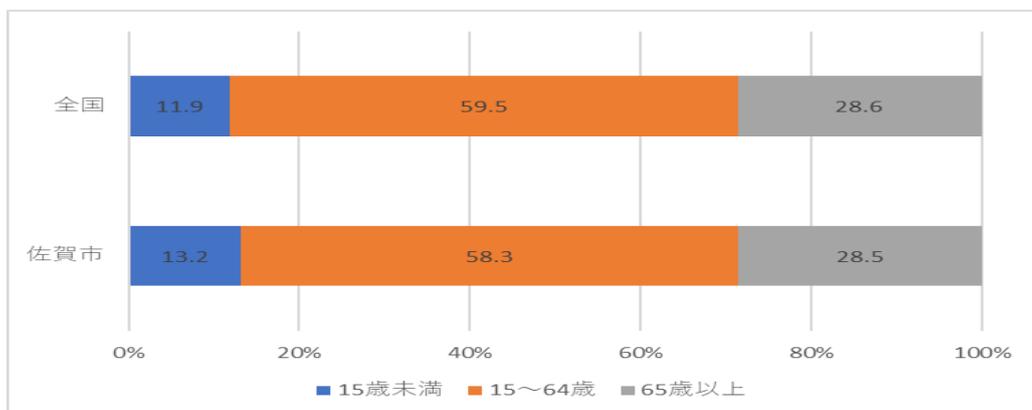


資料：国勢調査

人口3区分の割合を全国値と比較すると、佐賀市は年少人口の割合が高くなっています。

全国・佐賀市の人口構成割合人口 2020年

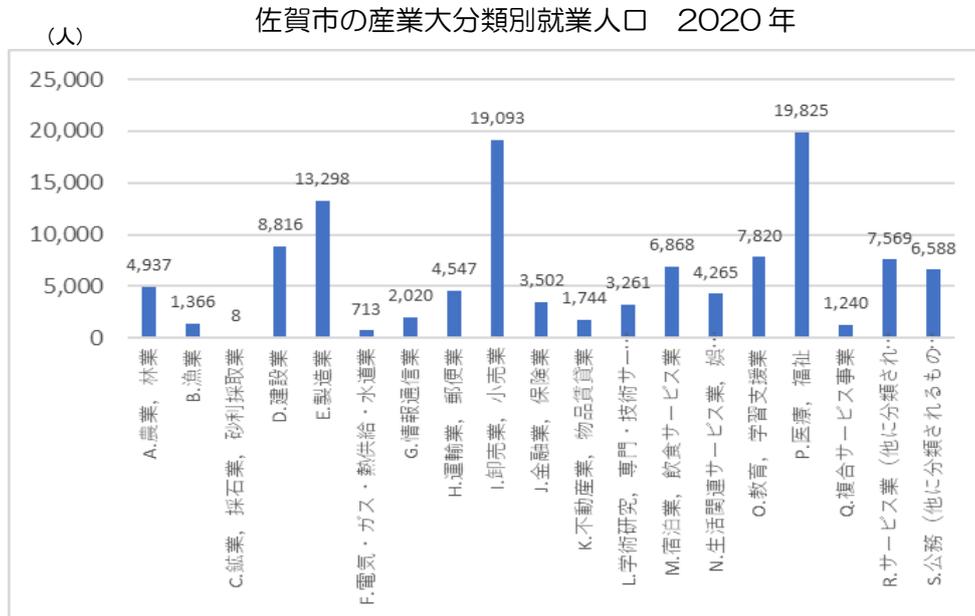
単位：%



資料：国勢調査

(2) 佐賀市の産業大分類別就業人口

佐賀市の産業大分類別就業人口では、医療・福祉が19,825人で最も多く、次いで卸売業・小売業19,093人、製造業13,298人、建設業8,816人と続く。

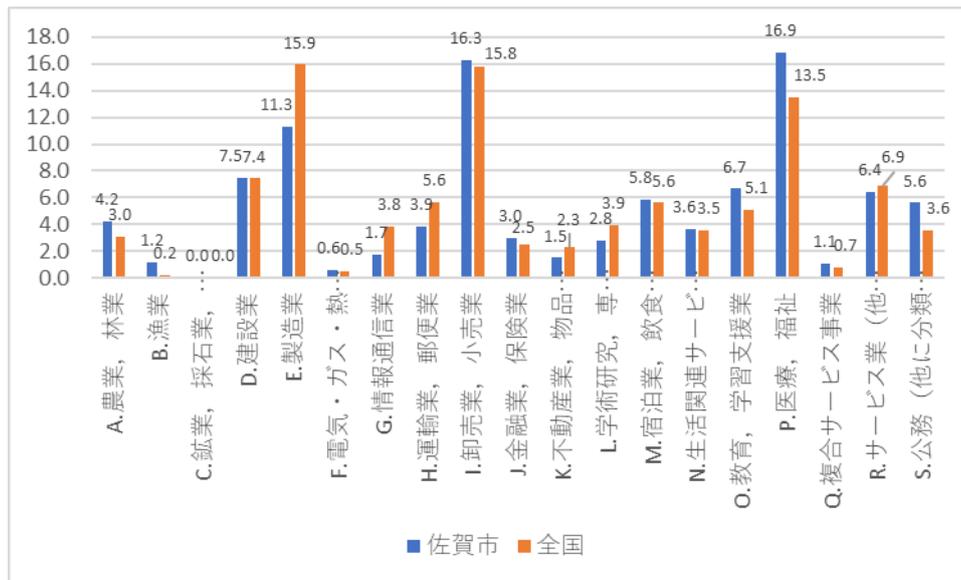


資料：国勢調査

佐賀市の産業大分類別就業人口割合を全国値と比較すると、割合的に多いのは医療・福祉、教育・学習支援業、農業・林業となっている。逆に低いのは、製造業、情報通信業などとなっている。

全国・佐賀市の産業大分類別就業人口割合値の比較 2020年

単位：%



資料：国勢調査

### (3) 地域間流動

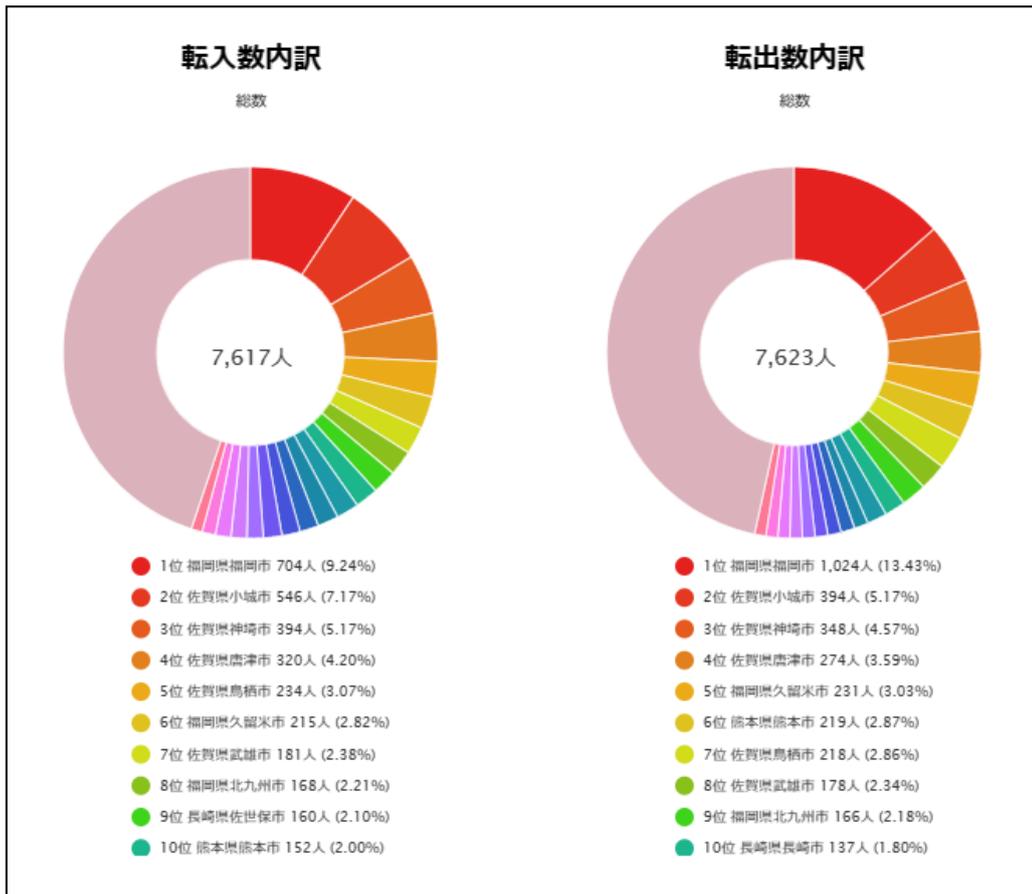
人口の地域間流動として、2020年の転入数、転出数を示します。生活圏として交流が多い地域となります。

佐賀市への転入では、福岡市が704人9.24%で最も多く、次いで、小城市、唐津市、神崎市と続きます。

また、佐賀市からの転出については、福岡市が最も多く、1,024人13.43%となっています。次いで、小城市、神崎市と続きます。

福岡市からの転入もありますが、転出数が上回っています。

佐賀市への転入数、佐賀市からの転出数の上位地域(2020年)



※RESAS 操作 人口マップ → 人口の社会増減 → From-to(定住人口)

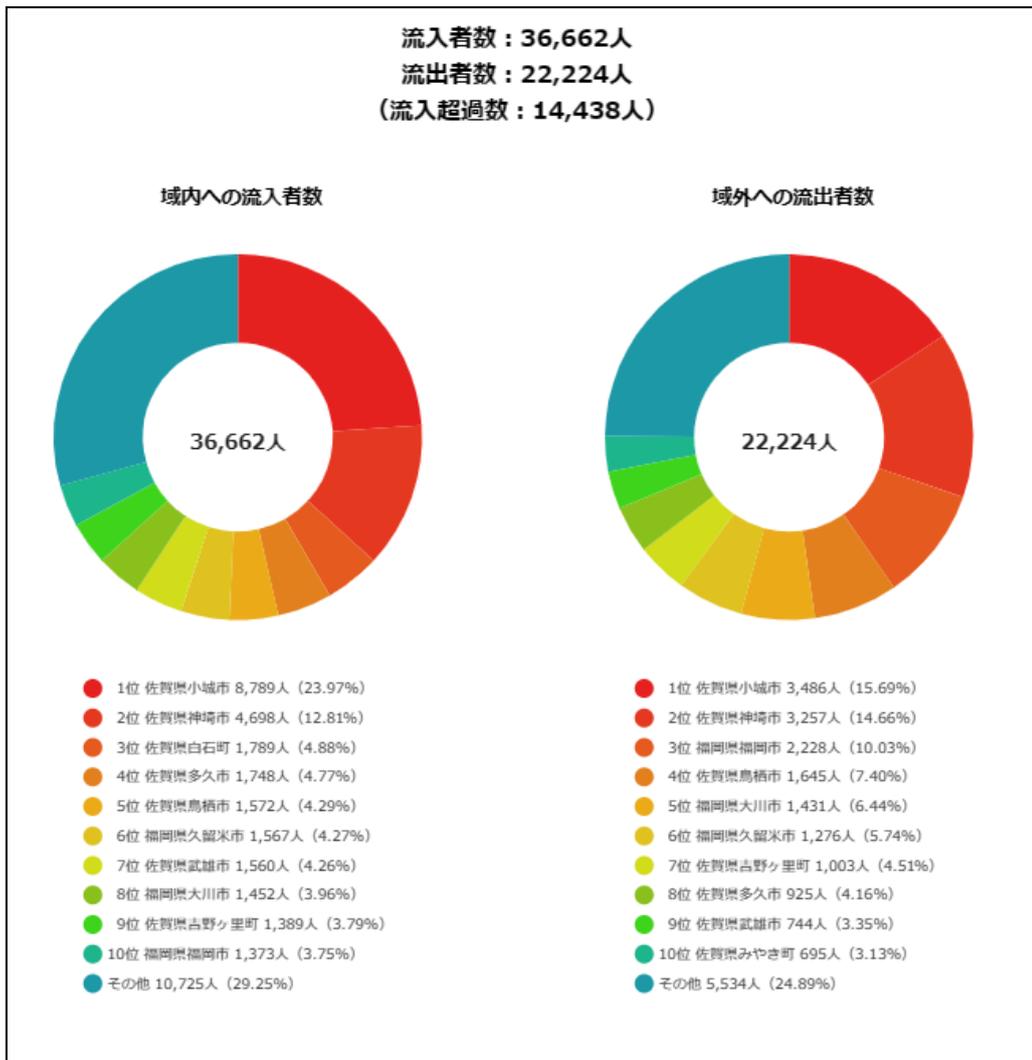
(4) 地域間流動

人口の地域間流動として、2020年の転入者数、流出者数を示します。通勤者、通学者の様子です。

佐賀市への流入としては、小城市が8,789人23.97%で最も多く、次いで、神崎市、白石町と続きます。

一方、佐賀市からの流出としては、小城市が3,486人15.69%で最も多く、次いで、神崎市、福岡市と続きます。

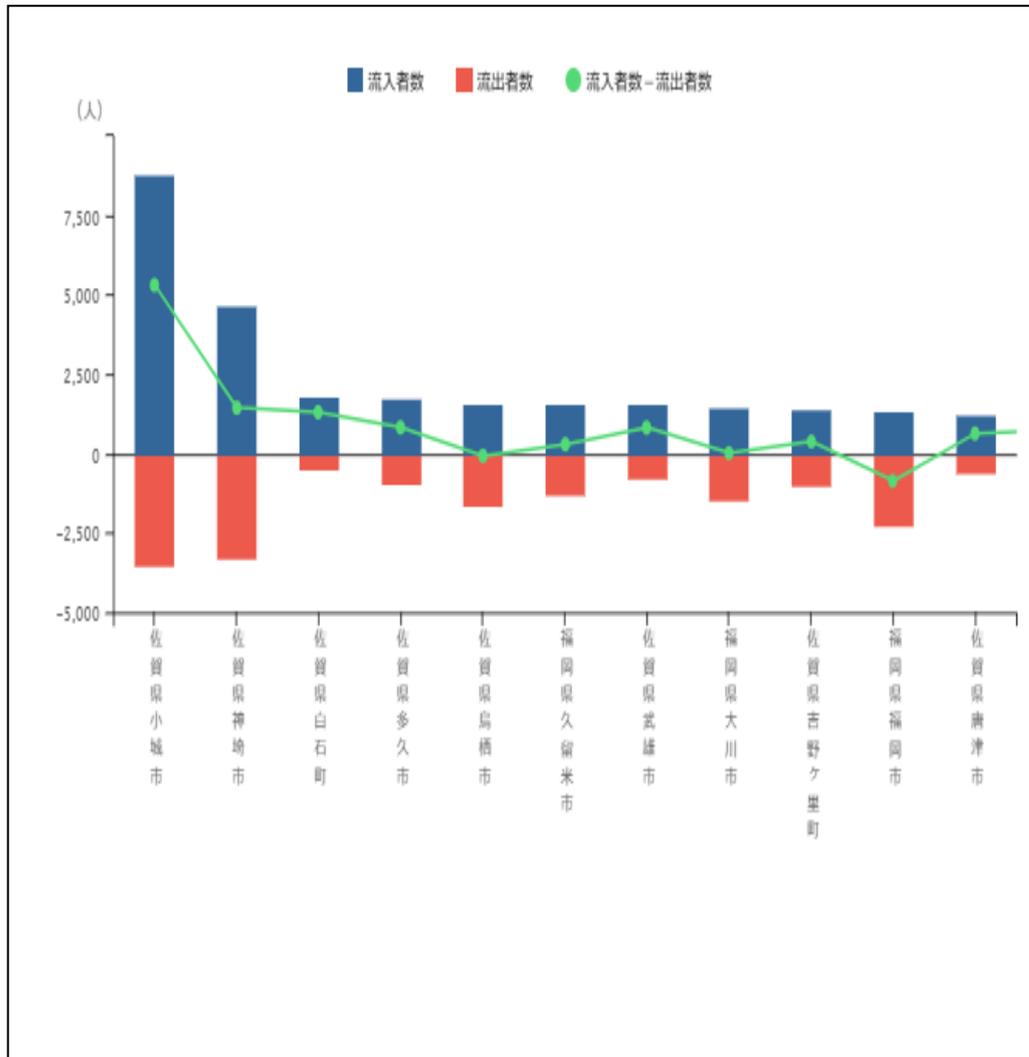
佐賀市への流入者数、佐賀市からの流出者数の上位地域(2020年)



※RESAS 操作 まちづくりマップ → 通勤通学人口

通勤通学による、佐賀市への流入、佐賀市からの流出状況をみると、福岡市が流出が流入を上回っています。小城市、神崎市などは流入が流出を上回っています。

佐賀市への流入者数、佐賀市からの転出者数の状況(2020年)



※RESAS 操作 まちづくりマップ → 通勤通学人口

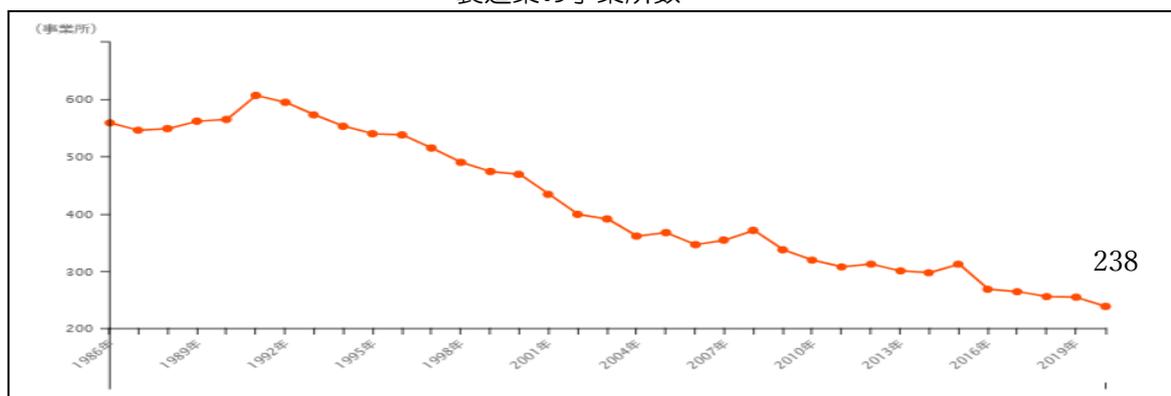
## 2. 産業特性

業種別の産業特性を示します。

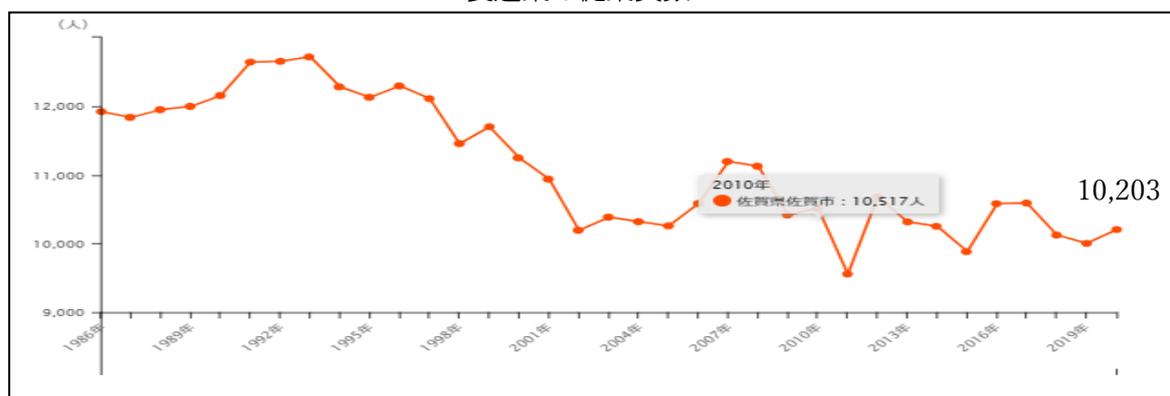
### (1) 製造業

佐賀市の製造業は、2020年現在、事業所数は238事業所、従業員は10,203人、製造品出荷額等は292,403百万円となっています。事業所数、従業員数は減少傾向にあります。製造品出荷額等は増加傾向となっています。

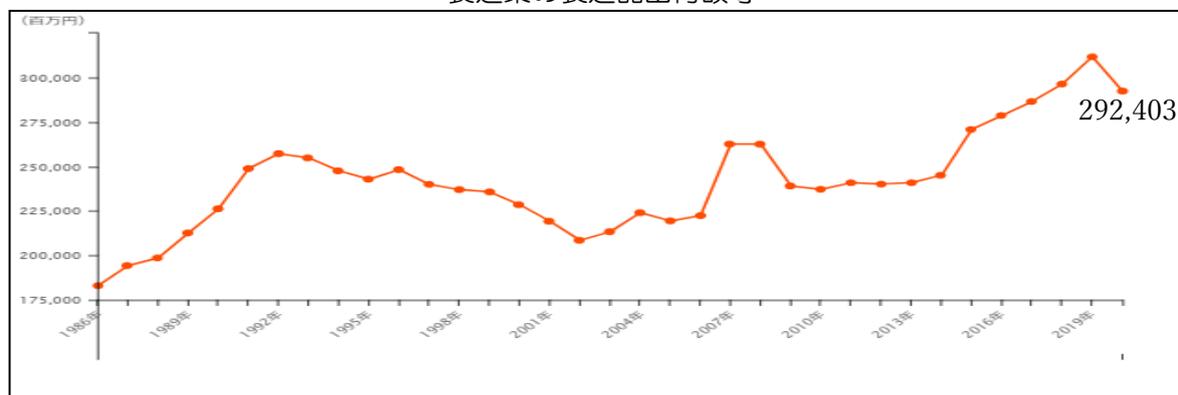
製造業の事業所数



製造業の従業員数



製造業の製造品出荷額等

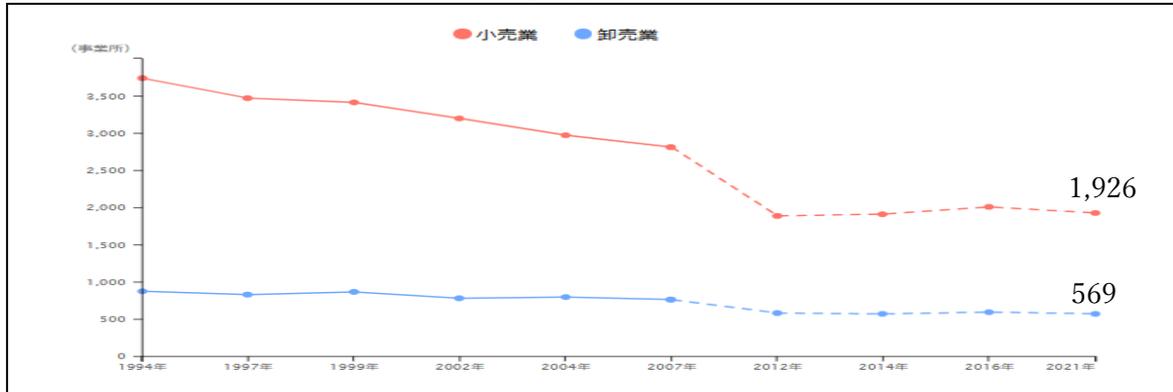


※RESAS 操作 産業構造マップ → 製造業 → 製造業の比較

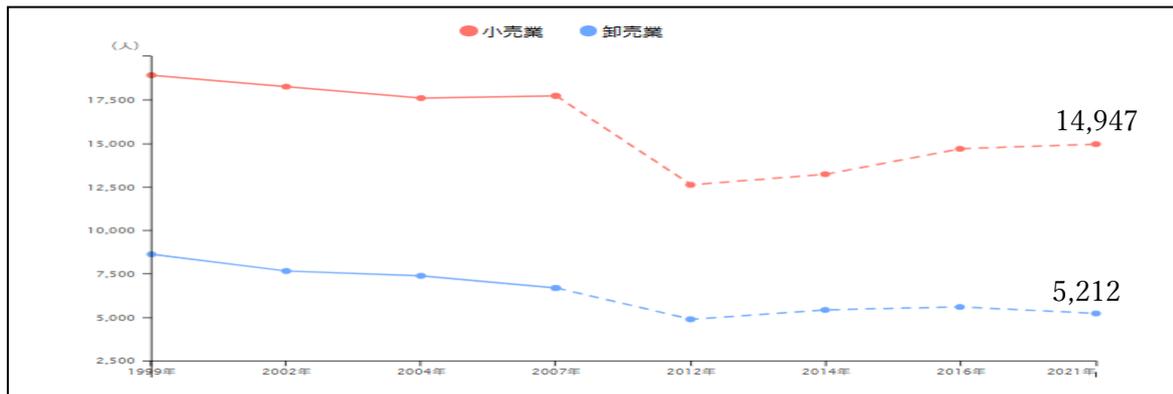
## (2) 小売・卸売業

佐賀市の小売業は、2021年現在、事業所数は1,926事業所、従業員は14,947人、年間商品販売額は307,457百万円となっています。事業所数、従業員数は減少傾向にあります。製造品出荷額等は増加傾向となっています。卸売業は、2021年現在、事業所数は569事業所、従業員は5,212人、年間商品販売額は289,311百万円となっています。

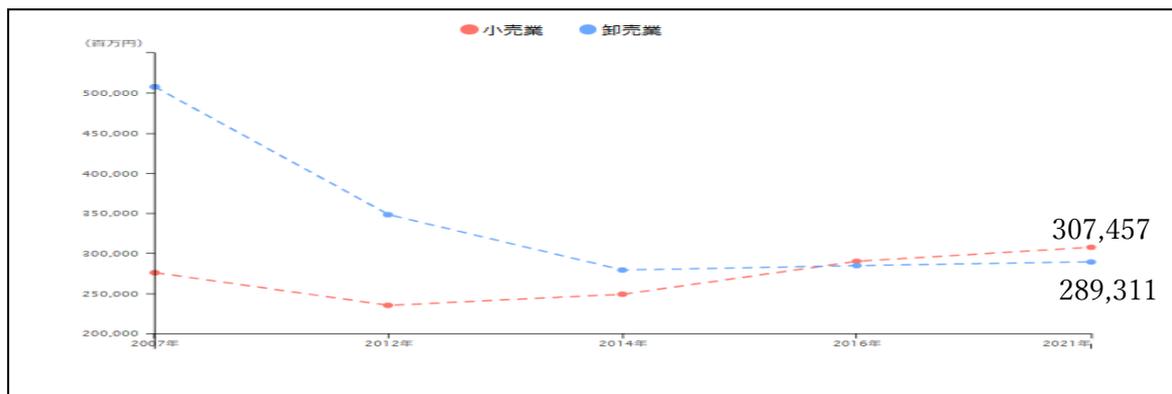
事業所数



従業員数



年間商品販売額

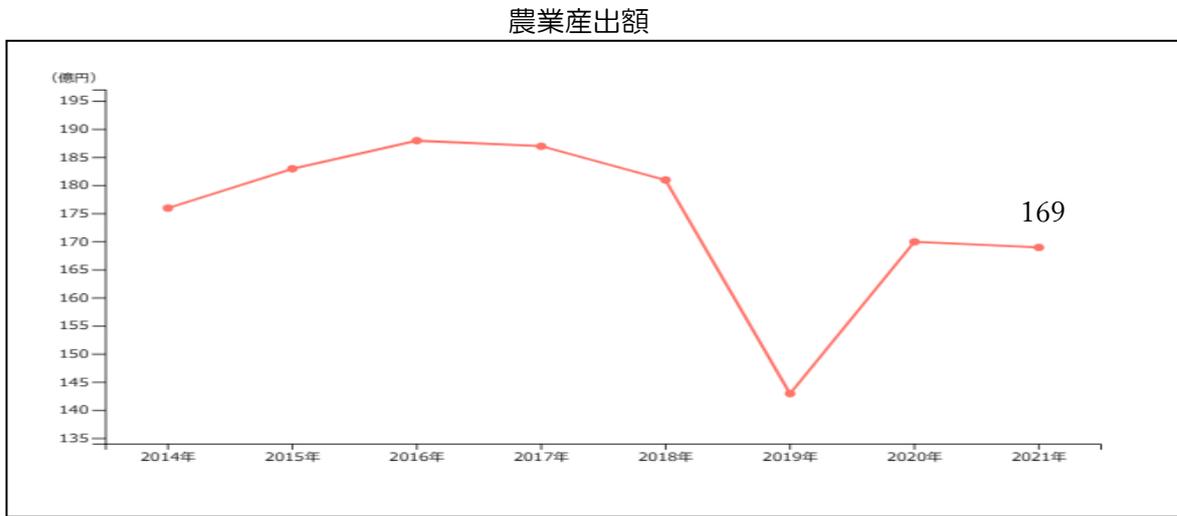


※RESAS 操作 産業構造マップ → 小売・卸売業 → 商業の構造

※グラフ上の破線は日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「商業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示しています。

### (3) 農業

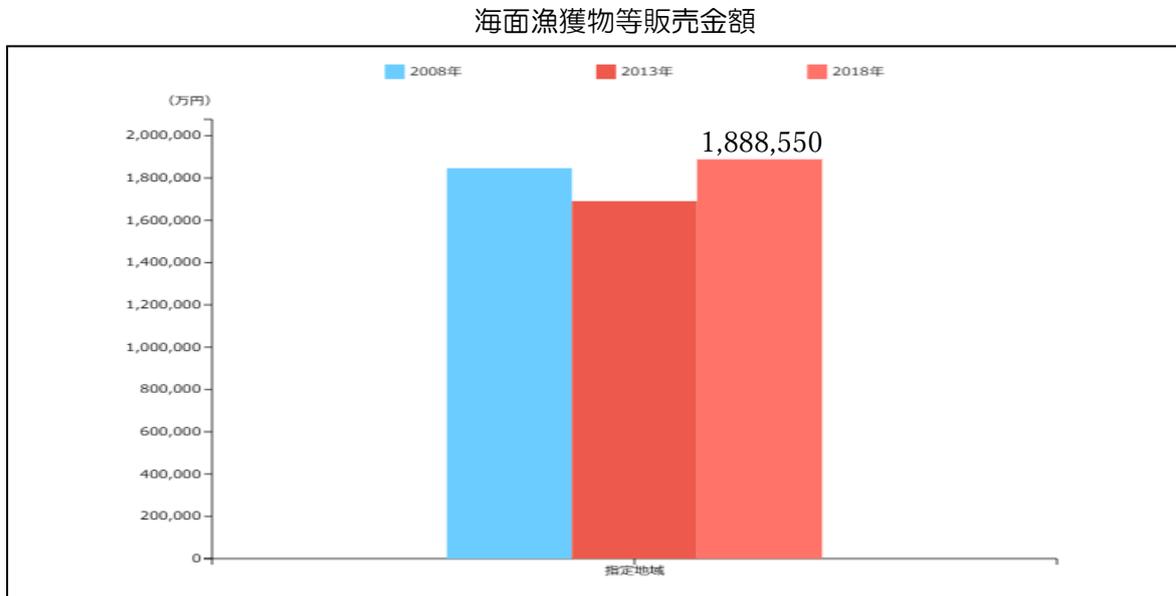
佐賀市の農業は、2021年現在、農業産出額は169億円となっています。



※RESAS 操作 産業構造マップ → 農業 → 農業産出額

### (4) 漁業

佐賀市の水産業は、2018年現在、海面漁獲物等販売金額は188億円となっています。



※RESAS 操作 産業構造マップ → 水産業 → 海面漁獲物等販売金額

佐賀市南エリア(諸富町・川副町・東与賀町・久保田町)の主な地域資源は以下のとおりです。  
地域資源を加工したり、地域資源のストーリーを活用するなどしての新商品開発などの取り組みが推進していければと思います。

■地域資源一覧

	諸富町	川副町	東与賀町	久保田町
観光地・物産	1.昇開橋 2.佐賀線跡サイクリングロード (徐福サイクルロード) 3.橋の駅ドロンパ	1.佐野常民記念館 2.三重津海軍所跡 3.九州佐賀国際空港 4.ポヒ一園・コスモス園 5.むっちゃん	1.ひがさす 2.干潟よか公園 3.虹の里 4.よかの道	1.味らん館 2.ふれあいクリーク公園
体験施設	4.飛鳥工房木の小物づくり体験	6.潮干狩り		3.いちご狩り
歴史文化	5.デ・レーケ導流堤 6.徐福上陸の地(金立神社下宮)	7.山口家住宅 8.海童神社浮立奉納	5.堤防跡【大瀬(おおがらみ)堤防跡】	4.長崎街道久保田宿 5.千鳥屋原田邸
グルメ	7.えつ	9.佐賀海苔 10.むつごろう 11.わらすぼ・もくさい 12.まえうみの海産物		
その他	8.諸富家具	13.さが農業祭り	6.シチメンソウ祭り	6.酒樽づくり



■ 諸富町の主な地域資源

1

昇開橋



昇開橋は、筑後川をはさんで諸富町と大川市を結ぶかつての鉄道橋で、現在は歩道橋として再利用されています。高さ約23mの東洋一の可動鉄橋で、夕日の美しいスポットです。機械遺産に認定されています。

2

徐福サイクルロード



徐福サイクルロードは、旧国鉄・佐賀線の跡地に、総延長約5キロの歩行者、自転車専用道路として整備されました。桜の季節は、約1200本のソメイヨシノがピンクのトンネルをつくり、心洗われるような光景に触れることができます。

3

橋の駅  
ドロンプ



昇開橋の入り口にある佐賀市観光情報発信会館「橋の駅ドロンプ」は、豊富な種類の弁当・惣菜、地元農産物やクチゾコ、タコなど「有明海」の海の幸、海苔製品、昔懐かしいお菓子類、季節に応じた果物などが良心価格で手に入ると評判の立ち寄りスポットです。

4

飛鳥工房木の  
小物づくり体験



「こどもに笑顔をお届けのおもちゃ作り」を経営理念に、自然の香り、自然塗料、すべすべの肌触りにこだわり、子供に安心して与えられる木製品を作っています。ギャラリーで小物類を眺める他、木製小物づくり体験サービスを行っています。

5

デ・レーケ導流堤



舟運の妨げとなる土砂の堆積を防ぎ、航路を確保するため、明治23年(1890)、オランダ人技師ヨハネス・デ・レーケの設計により作られたといわれています。全長は約6kmあり、今もなお、自然の川の流れだけで水深を維持できるようになっています。

6  
徐福上陸の地  
(金立神社下宮)



「徐福上陸地」として有名。寺井下宮の境内には「金立神社御蹟」と「徐福上陸記念碑」、という二つの石碑が立っています。

7  
えつ



写真：えつ銀色祭りチラシより

エツはカタクチイワシ科の一種。体長30～40センチ。体は銀白色で金色の輝きを持ち、腹から尾に向かって、ぐっと切れ込んだ姿はナイフの刃を思わせます。筑後川で5月～7月の“3か月間”だけ獲れる幻の魚“えつ”を堪能できる「えつ銀色祭り」が開催されます。

8  
諸富家具



佐賀市諸富町は筑後川の対岸にある福岡県大川市と並ぶ有数の家具産地です。その特徴は、高い木工技術とオリジナリティあふれるデザイン性にあります。各企業・工房はオーダー家具、創作家具、インテリア小物などそれぞれ得意とする分野を活かし、住環境の変化に対応した多種多様な商品を製作しています。

■川副町の主な地域資源

1  
佐野常民記念館



佐野常民記念館が「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」として2021年にリニューアルオープンされました。佐野常民に関する展示やシアター映像、赤十字コーナーが新しくなるなど見どころが満載です。

2  
三重津海軍所跡



幕末佐賀藩の洋式海軍の拠点だった場所で、幕末の海軍の様子や日本の伝統技術と西洋技術の融合、自然環境を巧みに使った洋式船の運用方法が具体的に分かる貴重な遺跡です。「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として世界遺産に登録されています。

3

九州佐賀国際空港



1998年に佐賀県南部の有明海に面した干拓地に開港した空港です。名称は現在「九州佐賀国際空港」となっています。佐賀県の空の玄関口であり、コロナ禍以前の2018年度で、国内線59万人、国際線23万人、計73万人の方が利用しています。

4

ポピー園・  
コスモス園



ポピー園、コスモス園は空港近くにあり、開花の時期には、きれいな花を咲かせます。

5

むっちゃん



地元の直売所であり、新鮮で美味しい地元の農産物や加工品・まえうみもん（有明海もの）の水産物を販売しています。花の品揃えが多いのも特徴です。

6

潮干狩り



写真：潮干狩りチラシより

4月中旬～5月中旬開催で、有明海の最大6mもの干満差を利用した、ダイナミックな潮干狩りです。漁船に乗って潮干狩りを楽しむことができる、他ではなかなか体験できない魅力的な潮干狩りです。

7

山口家住宅



建築年代は19世紀中頃と推定され、北向きの寄棟造りです。特徴は葺きぶきの屋根の形にあり、上から見るとほぼ正方形で、内側は谷状に低くなっています。このような四角形の屋根の家は「じょうご谷」「四方谷」と呼ばれ、日本では佐賀県東南部と福岡県西南部だけに見られる珍しいものです。

8

海童神社浮立奉納



海童神社の秋季例祭に豊作豊漁を感謝して奉納される伝統的な浮立で、佐賀平野に広く伝承している天衝舞浮立です。

9

佐賀海苔



佐賀海苔は、さがを代表する産物であり、干満の差を誇る有明海は多くの河川からのミネラル豊富な栄養塩が流れ込む恵み豊かな漁場で、1日2回の干出により旨みが凝縮されることで佐賀海苔独特の味が作られます。口どけがよく、香ばしさがあって、トロけるような甘みがあって、のど越しがいいのが特徴的です。

10

むつごろう



むつごろうは、国内では有明海と八代海の干潟に生息するハゼの仲間です。ひょうきんな顔つきや、干潮時に海水の引いた干潟で全身泥まみれになりながら、胸ビシを使って前進する様子はユーモラスです。かば焼きなど美味しいです。

11

わらすぼ・もくさい



ワラスボは日本では有明海にしかない貴重な魚です。有明海のエイリアンともいわれ、ハゼの仲間になります。たいていの場合、内臓を取って丸ごと干物にして、食べやすい大きさに切って揚げたり、あぶったりして食べます。

12

まえうみの海産物



有明海は約 1,700 km<sup>2</sup>の広大な内湾で、特徴は干満差 6m とも言われる大きな潮位変化と、干潮の際にあらわれる広大な干潟です。干潟は「生物のゆりかご」といわれ、多くの生物を育みます。有明海を棲みかとする珍しい魚たちを「前海(まえうみ)もん」と呼びます。有明海で捕れたまえうみもんを酒粕に漬けた、粕漬があります。

13  
さが農業まつり



毎年冬に、県内最大級の農業イベント「さが農業まつり」が佐賀空港東の多目的広場で開催されます。農機具や肥料農薬の展示・実演コーナーなど、農業者に役立つ情報もあり、また佐賀の新鮮な農産物の販売や県産品の飲食コーナーなどが並び、一般の方も来場されて佐賀農業の魅力を満喫することができます。

■東与賀町の主な地域資源

1  
ひがさす



東よか干潟は、佐賀市南部の有明海に位置し、国際的に重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。「東よか干潟ビジターセンターひがさす」は、東よか干潟の価値や魅力を発信し、観光・学習・交流などさまざまな活動の拠点となっています。

2  
干潟よか公園



有明海は、魚介類、野鳥、塩生植物などの貴重な生命を育む場です。その有明海に臨む東与賀海岸に干潟よか公園があります。そこは有明海の干潟やシチメンソウなど豊かな自然を活用し、憩いの場・交流の場・自然とふれあう体験の場を備えた公園です。家族連れで遊べる人気の公園です。有明海の夕日もきれいです。

3  
虹の里



「虹の里」の虹は七彩に輝く希望を意味します。地元農家の生産者が心をこめて作った新鮮な取れ立てのお米・野菜・花・農産加工品・手芸品・有明海の魚介類などを販売しています。

4  
よかの道



がばいよか店「よかの道」は、採れたて野菜と新鮮な魚介類を豊富に取り扱っているお店です。個性豊かなお姉さんが魅力的な店舗です。

5  
堤防跡【大溺  
(おおがらみ)  
堤防跡など】



東与賀町の最南端の大掬搦堤防（有明海沿い）から北に引き返すと、途中、東西に3km弱の長い石積みの堤防跡があります。大掬搦堤防・授産社掬搦堤防です。明治以降の佐賀平野の干拓地開発により設けられた旧東与賀村の石積みの堤防群で、明治前期の有明海沿岸の干拓堤防としては最大規模のものであります。

6  
シチメンソウ  
祭り



毎年11月3日頃において、東与賀の干潟よか公園周辺でシチメンソウ祭りが開催されます。さまざまな物産店が出展するとともに、ステージで各種イベントが開催されます。一番の目玉は赤く紅葉したきれいなシチメンソウを見ることが出来ます。海岸で秋を感じることが出来ます。

■久保田町の主な地域資源

1  
味らん館



生産者が心をこめて作った新鮮な野菜、花、小町みそその他、有明海の新鮮な魚介類なども揃えています。魚貝類はその日と前日取れたものを販売、野菜類は朝取りで、残品はいずれも生産者が引き取ります。新鮮とりたての野菜と魚貝類を販売しています。

2  
ふれあい  
クリーク  
公園



縦横無尽にクリークが走る久保田町にふさわしく、田園やクリークの歴史や風土を振り返り、水に親しんでもらおうという目的で、約1万平方メートルの雄大な敷地に整備された親水公園です。

3  
いちご狩り



佐賀ベリーフォレストは、ご年配の方からお子様まで3世代で気軽に楽しめるいちご狩り農園です。

4  
長崎街道  
久保田宿



国道 207 号の徳万交差点から西に進むと「久保田宿交差点」にでます。この辺りが久保田宿で、戦国時代に小城一円に勢力を張った千葉氏が物資の取引拠点としたことで栄えたといわれています。久保田の町は昭和初期まで多くの商家が軒を連ねて賑わっていて、砂糖菓子などを製造するお店もありました。

5  
千鳥屋原田邸



九州北部を支配していた龍造寺氏の家臣であった原田家は 1630 年に「松月堂」の屋号で和菓子店を創業し、丸ボーロ・カステラなどの菓子製作を本格的に始めました。建物は、主屋と土蔵 2 棟が一体として残っている、明治期の佐賀の景観を現す貴重な建物となっています。

6  
酒樽づくり



写真：(有)原田製樽所 HP より

(有)原田製樽所は大正元年創業で、酒樽を作られています。酒樽の材料として最適な吉野杉を使用し、接着剤を使用しない昔ながらの手作業の製法を守っています。樽の製作所は九州に 2 件、全国でも 10 件ほどしかないといわれており、久保田の原田製樽所は貴重な伝統技術を継承した数少ない存在です。